

改正前

4.4 基本目標④「人と人とのつながりを強め、くらしを守るとともに、地域のにぎわいを創出する」

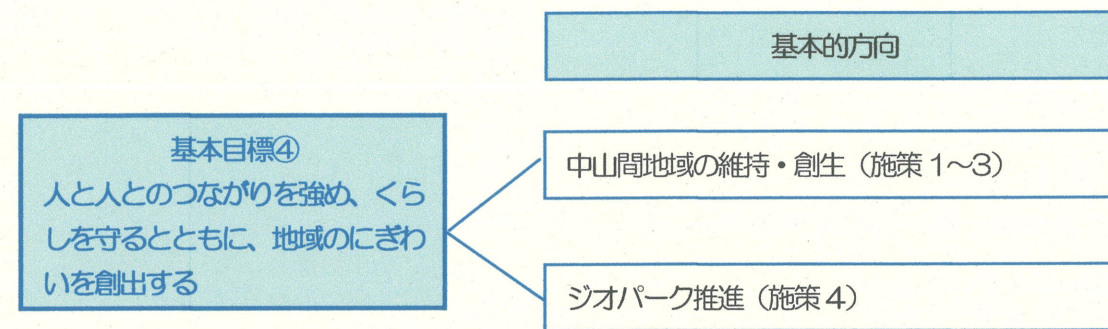
中山間地域では、高齢化の進行や人口減少に伴う地域活動の担い手不足、買い物や移動手段といった生活面での不安、農林水産業を担う人材の不足など、さまざま課題に直面しています。

その一方で、集落への「愛着」「誇り」や「住み慣れた地域でいつまでも暮らしたい」という強い思いを持っている方が多いことから、地域で支えあい、助け合いの仕組みづくりの構築を目指します。

また、地域の担い手や地域おこし協力隊等と連携しお金が回る仕組みづくりを図り、地域住民みんなが参加できる小さな経済をつくることなど、次世代に活動を束ねる機能を集落活動センターが担うことが重要であり、地域のにぎわい拠点として整備を推進します。

本市が有する歴史的、文化的資源を「*ジオパーク」の認定に向けた活動を推進し、住民の郷土愛の醸成、観光客の呼び込みに寄与するよう魅力ある商品開発やジオ教育の周知活動を進め、情報発信していきます。

これらの施策によって、地域のにぎわいを創出していきます。



*ジオパーク：ジオ (geo) とは、地球や大地という意味で、地球の恵みや歴史を楽しく学ぶ自然の公園のこと。

改正後

4.4 基本目標④「人と人とのつながりを強め、くらしを守るとともに、地域のにぎわいを創出する」

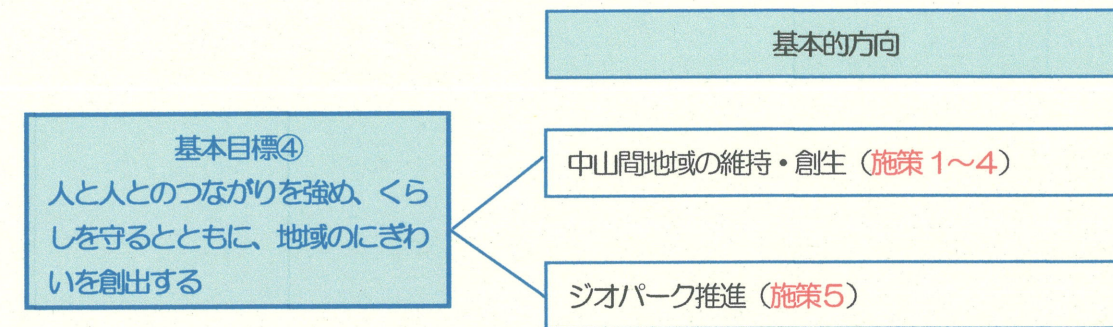
中山間地域では、高齢化の進行や人口減少に伴う地域活動の担い手不足、買い物や移動手段といった生活面での不安、農林水産業を担う人材の不足など、さまざま課題に直面しています。

その一方で、集落への「愛着」「誇り」や「住み慣れた地域でいつまでも暮らしたい」という強い思いを持っている方が多いことから、地域で支えあい、助け合いの仕組みづくりの構築を目指します。

また、地域の担い手や地域おこし協力隊等と連携しお金が回る仕組みづくりを図り、地域住民みんなが参加できる小さな経済をつくることなど、次世代に活動を束ねる機能を集落活動センターが担うことが重要であり、地域のにぎわい拠点として整備を推進します。

本市が有する歴史的、文化的資源を「*ジオパーク」の活動として推進し、住民の郷土愛の醸成、観光客の呼び込みに寄与するよう魅力ある商品開発やジオ教育の周知活動を進め、情報発信していきます。

これらの施策によって、地域のにぎわいを創出していきます。



*ジオパーク：ジオ (geo) とは、地球や大地という意味で、地球の恵みや歴史を楽しく学ぶ自然の公園のこと。

改正前

- (1) 施策1：集落の賑わいと集落活動センターの推進
- (2) 施策2：持続可能な公共交通網の確立

改正後

- (1) 施策1：集落の賑わいと集落活動センターの推進 ※改正無し
- (2) 施策2：持続可能な公共交通網の確立 ※改正無し

(3) 施策3：集落活動の推進、文化・伝統の継承・活性化

少子高齢化及び核家族化により地域のつながりが希薄化する中、子どもや高齢者や障がい者など、だれもが交流できる場の拡大により、各集落における様々な活動の活性化、災害時等における自主防災機能など「共助」の機能強化、更には、本市の文化や伝統を次代につなげ、安心して安全な生活を営むため、環境整備や事業支援の取組を推進します。

施策3 集落活動の推進、文化・伝統の継承・活性化		基準値 (R1)	目標値 (R6)
KPI (重要業績評価指標)			
集落整備事業実施件数		1件	2件
コミュニティ助成事業助成実施件数		4件	4件
文化会館来館者数		18,000人	19,000人
体育館利用者数		29,000人	30,000人
中央公民館来館者数		13,000人	15,000人
図書館来館者数		23,000人	24,000人
産業祭等の伝統イベントや記念事業の参加者数		5,000人	6,000人
取組内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・集落環境整備 ・竜串ビジターセンターの管理運営 ・文化会館運営 ・公民館、図書館運営 ・体育館等スポーツ施設運営 ・歴史、文化施設等の保全及び整備 ・市制70周年等各種記念事業・行事 			
事業名	担当部署	事業区分	
集落環境整備事業	企画財政課	新規	
コミュニティ助成事業	企画財政課	新規	
文化会館運営事業	生涯学習課	新規	
公民館・図書館運営事業	生涯学習課	新規	
市民体育館等スポーツ施設運営事業	生涯学習課	新規	
イベント・記念事業開催事業	企画財政課	新規	
歴史、文化施設等の保存事業	生涯学習課	新規	

改正前

(3) 施策3：鳥獣被害対策の推進

本市では、野生鳥獣による農林産物等への被害が深刻化している一方で、狩猟者の高齢化等による有害鳥獣捕獲の担い手が不足しており、鳥獣による農林産業等の被害を軽減するため、「被害防除」として防護柵等の対策と、有害鳥獣の「捕獲」を進め総合的な被害防止対策を推進します。

施策3 鳥獣被害対策の推進		
KPI (重要業績評価指標)	基準値 (R1)	目標値 (R6)
有害鳥獣捕獲許可によるサル、シカ、イノシシ等の捕獲頭数	1,605頭	1,750頭
防護柵等設置延長	5,801m	7,000m
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・侵入防止柵や捕獲機材の整備への支援 ・新規狩猟者の確保 		
事業名	担当部署	事業区分
鳥獣被害防止総合対策	農林水産課	継続
新規狩猟者確保事業	農林水産課	継続
地域おこし協力隊事業	農林水産課	継続

(4) 施策4：ジオパークの推進による持続可能な地域の発展

日本ジオパークネットワークへの正会員加盟をめざし、足摺宇和海国立公園「竜串ビジターセンター」の機能を十分に活かしながら、ジオパーク活動の推進による持続可能な地域の発展を図ります。

施策4 ジオパークの推進による持続可能な地域の発展		
KPI (重要業績評価指標)	基準値 (R1)	目標値 (R6)
ジオパーク学習(学校教育)	7校	8校
竜串ビジターセンター利用者数(累計)	—	38万人
ジオツアー販売金額(年間)	11万円	500万円
WEBサイトPV数(年間)	30,000件	60,000件
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・ジオパークの情報発信、普及啓発、教育・研究支援 ・竜串ビジターセンターの管理運営 ・ジオツアーの磨き上げ及び新規開発 ・日本ジオパークネットワークへの加盟申請 		
事業名	担当部署	事業区分
ジオパークにおける教育啓発・研究支援事業	国立公園*ジオパーク推進課	継続
竜串ビジターセンター管理運営事業	国立公園*ジオパーク推進課	継続
ジオツーリズム推進事業	国立公園*ジオパーク推進課	継続
土佐清水ジオパーク推進協議会運営事業	国立公園*ジオパーク推進課	継続

改正後

(4) 施策4：鳥獣被害対策の推進

本市では、野生鳥獣による農林産物等への被害が深刻化している一方で、狩猟者の高齢化等による有害鳥獣捕獲の担い手が不足しており、鳥獣による農林産業等の被害を軽減するため、「被害防除」として防護柵等の対策と、有害鳥獣の「捕獲」を進め総合的な被害防止対策を推進します。

施策4 鳥獣被害対策の推進		
KPI (重要業績評価指標)	基準値 (R1)	目標値 (R6)
有害鳥獣捕獲許可によるサル、シカ、イノシシ等の捕獲頭数	1,605頭	1,750頭
防護柵等設置延長	5,801m	7,000m
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・侵入防止柵や捕獲機材の整備への支援 ・新規狩猟者の確保 		
事業名	担当部署	事業区分
鳥獣被害防止総合対策	農林水産課	継続
新規狩猟者確保事業	農林水産課	継続
地域おこし協力隊事業	農林水産課	継続

(5) 施策5：ジオパークの推進による持続可能な地域の発展

日本ジオパークネットワークの正会員として、足摺宇和海国立公園「竜串ビジターセンター」の機能を十分に活かしながら、ジオパーク活動の推進による持続可能な地域の発展を図ります。

施策5 ジオパークの推進による持続可能な地域の発展		
KPI (重要業績評価指標)	基準値 (R1)	目標値 (R6)
ジオパーク学習(学校教育)	7校	8校
竜串ビジターセンター利用者数(累計)	—	38万人
ジオツアー販売金額(年間)	11万円	500万円
WEBサイトPV数(年間)	30,000件	60,000件
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・ジオパークの情報発信、普及啓発、教育・研究支援 ・竜串ビジターセンターの管理運営 ・ジオツアーの磨き上げ及び新規開発 		
事業名	担当部署	事業区分
ジオパークにおける教育啓発・研究支援事業	国立公園*ジオパーク推進課	継続
竜串ビジターセンター管理運営事業	国立公園*ジオパーク推進課	継続
ジオツーリズム推進事業	国立公園*ジオパーク推進課	継続
土佐清水ジオパーク推進協議会運営事業	国立公園*ジオパーク推進課	継続